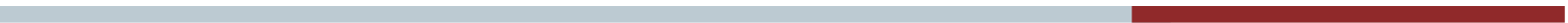


BSM370

ユーザーマニュアル





©1996～InBody Japan Inc. All rights reserved. BM-JPN-98-A-201029

本書の内容の一部または全てを、無断でコピーしたり他の媒体（磁気、電気、写真等の如何を問わず）やシステムに転用することを禁じます。本書の校正には注意を払っておりますが、誤字・脱字がある可能性があり、予告なしに変更することがあります。(株)インボディ・ジャパンは本書に述べられた必要条件を満たさないことによってもたらされた損害については一切の責任を負いかねます。

株式会社インボディ・ジャパン

〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-28-6 タニビル

Tel:03-5875-5780 Fax:03-5875-5781

Website:<https://www.inbody.co.jp>

E-mail:inbody@inbody.co.jp

InBody KOREA

InBody Bldg., 54, Nonhyeon-ro 2-gil, Gangnam-gu, Seoul 135-960 KOREA

Tel:82-2-501-3939 Fax:82-2-501-3978

Website:<https://www.inbody.co.kr>

E-mail:inbody@inbody.co.kr

承認

InBody、InBody Japan ロゴ、及び InBody は(株)インボディ・ジャパンの登録商標です。(株)インボディ・ジャパン以外の本書中に出てくる会社と製品の名前はそれらの会社の商標です。他社製品を述べるのは、これらの製品の保証や推薦のためではありません。(株)インボディ・ジャパンはこれらの製品の性能や使用において責任を負いかねます。(株)インボディ・ジャパンは顧客の同意なしで製品の品質を改良するための権利を保有します。

折り畳み伸縮式 全自動身長体重計

BSM370 使用説明書

当マニュアルの使い方

本書は BSM370 の機能について簡単にご理解いただけるよう解説しています。本書を有効にご利用いただくためには下記に従ってください。製品の仕様は改良のため予告無く変更することがあります。

1. 本体を操作する前に、必ず本マニュアルをお読みください。
2. 本体の構成を理解するために、必ず機器の図やイメージに目を通してください。
3. ご使用中に不具合や臨床上の質問が発生した場合は、電話または電子メールで㈱インボディ・ジャパンまたは販売店へご連絡ください。
Tel:03-5875-5780 E-mail:inbody@inbody.co.jp
4. 警告や注意、注記等のシンボルがある箇所は注意してお読みください。以下の 3 つのシンボルが使われています。



注意事項を守っていただかないと、障害の発生や怪我をされる可能性があります。十分注意してこのような危険を避けてください。



注意していただかないと、怪我や機器を損傷する可能性がありますのでご注意ください。



BSM370 の運用上、重要な参考事項です。

ラベルと安全のための記号

A. ラベル



9 ピンシリアルポート、Male (RS-232C)

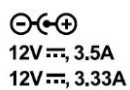
B. 安全記号



高圧危険



Danger / Warning / Caution / Note
危険 / 警告 / 注意 / 注意



アダプタ連結端子



電源入 (ON)



電源切 (OFF)

使用上の注意



設置、運用、保管上の注意事項です。

1. 機器を設置するときは、次の事項に注意すること。

- ・ 水のかからない場所に設置すること。
- ・ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
- ・ 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
- ・ 電圧及び許容電流値(または消費電力)に注意すること。
- ・ アースを正しく接続すること。

2. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。

- ・ スイッチの接触状況などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認すること。
- ・ アースが完全に接続されていることを確認すること。
- ・ すべてのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認すること。
- ・ 機器の併用は正確な判断を誤らせたり危険を招く恐れがあるので、十分注意すること。
- ・ 被検者に直接接続する外部回路を再点検すること。

3. 機器の使用後は、次の事項に注意すること。

- ・ 定められた手順により操作スイッチなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
- ・ コード類の取り外しに際しては、コードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。
- ・ 保管場所については、次の事項に注意すること。
 - － 水のかからない場所に保管すること。
 - － 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - － 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - － 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- ・ 付属品、コード、電極などは清浄にしたのち、整理してまとめておくこと。
- ・ 機器は次回の使用に支障のないように必ず清浄にしておくこと。

4. 故障したときはそれを示す適切な表示を行い、修理は専門家に任せること。

5. 機器は改造しないこと。

6. 保守点検

- ・ 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- ・ しばらく使用しなかった機器を再使用する時には、必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。

7. その他必要な項目

- ・ 電源に接続されている間は外部コネクタ等に触れないこと。
- ・ 機器を濡らした(湿らせた)状態で使用しないこと。
- ・ ディスプレイを直射日光に長時間当てないこと。
- ・ 計測中は被検者に触れないこと。
- ・ 機器の近くで飲食しないこと。
- ・ 1日以上使用しない場合は電源を切っておくこと。

折り畳み伸縮式全自動身長体重計 BSM370 をご紹介します。

折り畳み伸縮式全自動身長体重計 BSM370 をご購入頂きまして誠にありがとうございます。

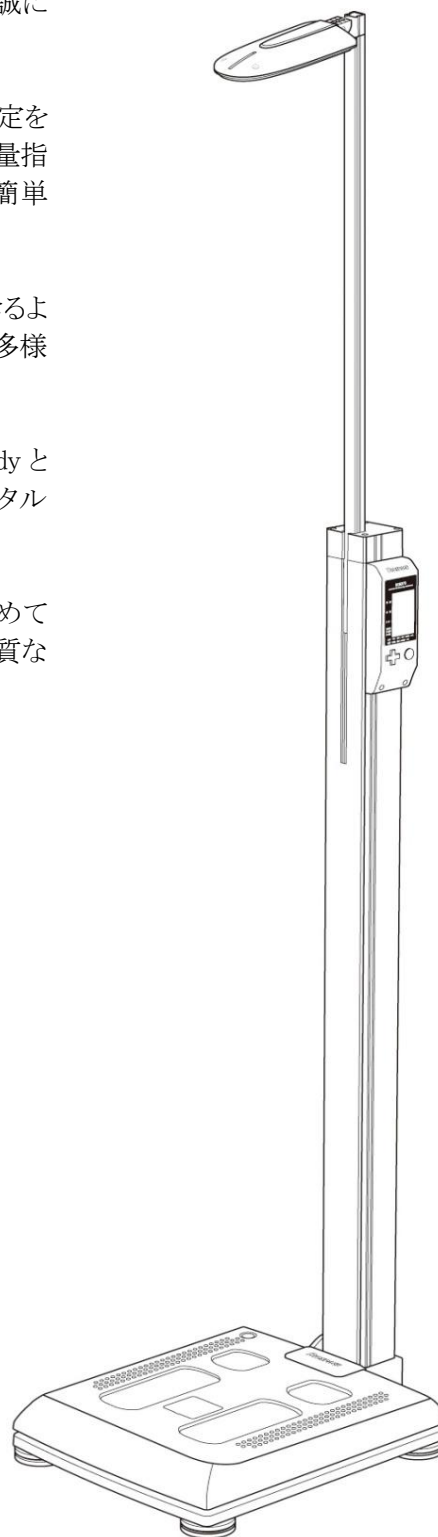
BSM370 は、有用性と利便性を考え、より簡単に身長と体重の測定を可能にしました。そして、測定された身長と体重に基づいて体質量指数(BMI、Body Mass Index)を表示しており、測定結果は誰でも簡単に一目で理解できるようにデジタル形式で表示しております。

BSM370 の洗練されたデザインは場所を問わずどこでも設置できるように工夫されました。従って、測定環境をお客様の選択によって多様に演出できるようになり、より便利で理想的な使用が可能です。

また、BSM370 は(株)インボディ・ジャパンの体成分分析装置 InBody と連動して使用することによって、さらに正確な体成分分析のトータルソリューションを可能にしてくれます。

インボディ・ジャパンは常に健康のためのパートナーとなるよう努めております。我々は明白な経営とたゆまぬ研究開発によって高品質な製品を開発し続けることをお約束いたします。

代表取締役 車 基哲



目 次

1 章 設置と管理	12
I. 梱包箱の開梱	13
II. BSM370 の外観・機能	14
III. 設置方法	16
IV. 移動	22
V. 再梱包	23
VI. 維持・保守	25
2 章 使用方法	26
I. 操作部の外観・機能	27
II. 電源投入とウォーミングアップ	28
III. 測定姿勢	29
IV. 測定方法	30
V. 結果確認	32
3 章 SETUP 設定と変更	33
I. SETUP 設定	34
4 章 問題と解決	35
I. エラーメッセージ	36
II. トラブルシューティング	37
付 録	38
I. 地域別重力加速度の範囲	39
II. RS-232C 準拠出力説明	40
III. 消耗品及びオプション装置	42
IV. 製品仕様	43
V. 連絡先	44

特定計量器

特定計量器に対応した BSM370 では下記のような制限事項があります。

はかりの仕様

ひょう量	200kg
最小測定量	2kg
目量	0.1kg
精度等級	3 級

注意



計量用に使用できる重力加速度の範囲が設定されて出荷されますので、その範囲外の地域では使用はできません。重力加速度の範囲は本体の背面にあるラベルに書かれています。重力加速度の範囲と地域の関係は当マニュアルの付録にある「使用地域別・重力加速度の範囲」をご参照ください。



定期検査

取引・証明に使用する「はかり」に対して、2年ごとに都道府県知事または特定市町村の長が行う定期検査を受けることが義務付けられています。必ず定期検査をお受けください。



法定計量の対象

身長、体重測定における身長と BMI の値は法定計量の対象外になります。つまり、体重以外の値は法定計量の対象外の値です。



特定計量器のラベル

本装置背面には、特定計量器に対応したラベルが貼られています。ここに貼られたラベルをはがすと特定計量器としての検定が無効になり、特定計量器として使用できません。ラベルは絶対にはがさないでください。

初期零点設定

電源投入時に測定台に 10kg 以下の負荷がかかっている場合、この負荷のかかった状態を初期零点に設定します。例えば、測定台に 1kg の負荷がかかった状態で電源を入れると、1kg の負荷のある状態を 0kg と表示します。この場合 60kg の人が測定台に乗ると、本装置は 60.0kg と表示します。測定の範囲は 200kg までと変わりません。

しかし、この状態でかかっていた負荷を除くと本装置は 59.0kg と表示します。

電源投入時は、測定台の上に何も無いことを確認してから電源を入れてください。

10kg を越えた荷重がかかっている場合はエラーメッセージが表示されて停止します。電源を切り、物を取除いて十数秒経ってから電源を入れてください。

1 章 設置と管理

- I. 梱包箱の開梱
- II. BSM370 の外観・機能
- III. 設置方法
- IV. 移動
- V. 再梱包
- VI. 維持・保守

I. 梱包箱の開梱

BSM370 の構成は以下の通りです。開梱の際、下記のものが梱包されているかご確認ください。

1) 梱包内容

- ① BSM370 本体
- ② クイックマニュアル
- ③ 電源アダプタ(12V、3.33A) 1 個
- ④ 電源ケーブル(AC100V 10A 1.8m) 1 本
- ⑤ 固定ネジ 1 個
- ⑥ (連結部分)カバー 1 個
- ⑦ Y字型ケーブル(ゼンダー付) 1 本
- ⑧ RS-232C ケーブル(5m) 1 本

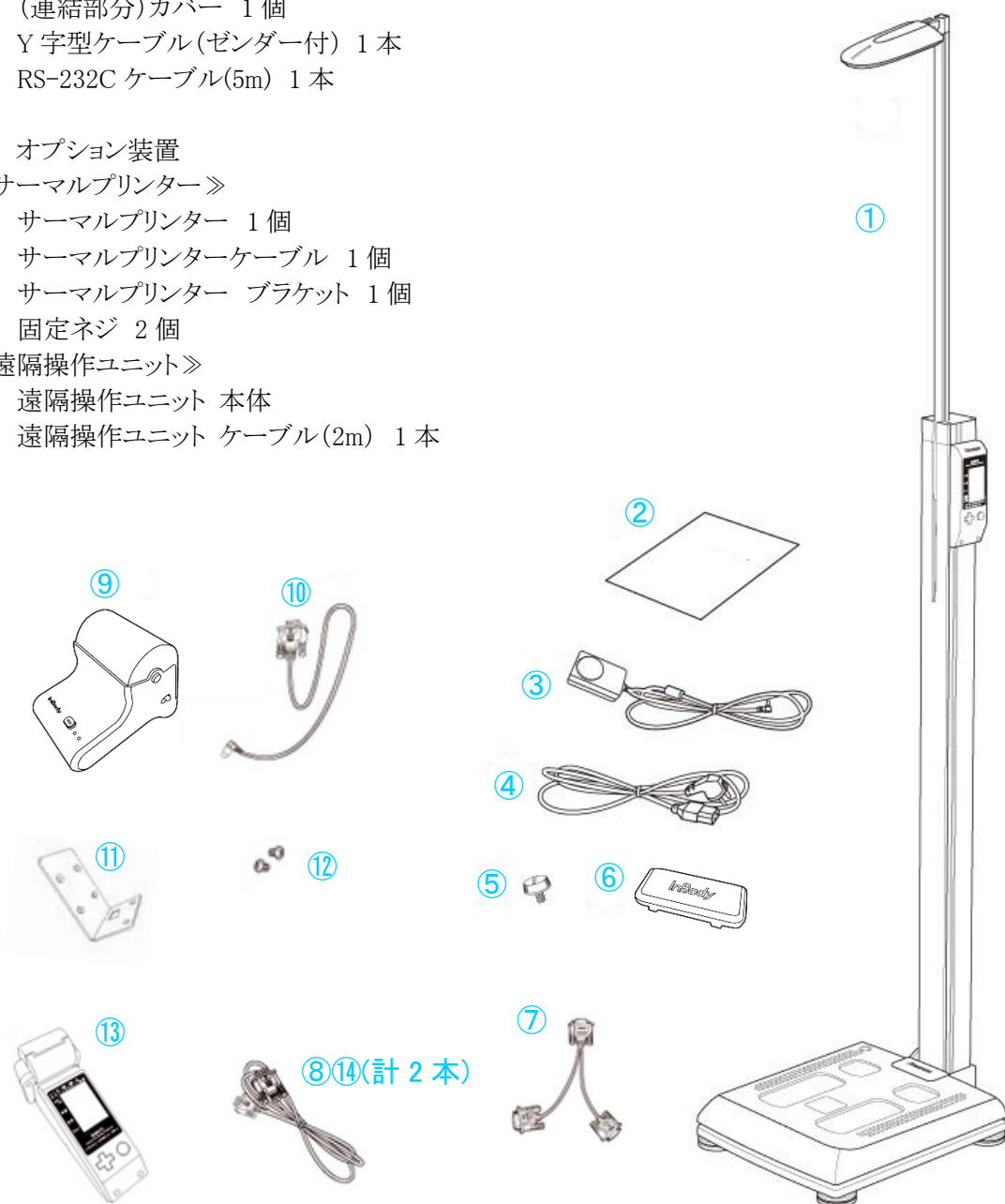
※ オプション装置

《サーマルプリンター》

- ⑨ サーマルプリンター 1 個
- ⑩ サーマルプリンターケーブル 1 個
- ⑪ サーマルプリンター ブラケット 1 個
- ⑫ 固定ネジ 2 個

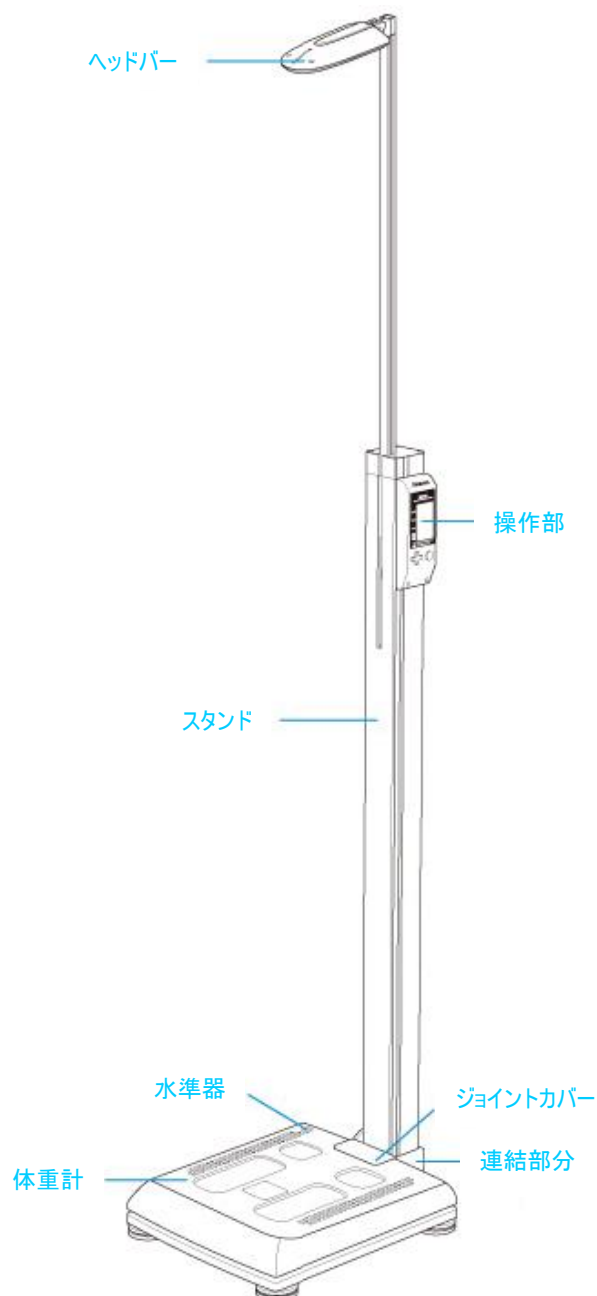
《遠隔操作ユニット》

- ⑬ 遠隔操作ユニット 本体
- ⑭ 遠隔操作ユニット ケーブル(2m) 1 本

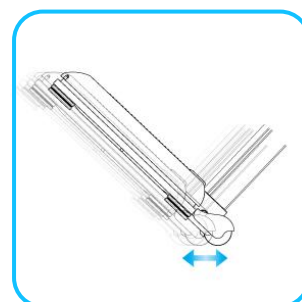


II. BSM370 の外観・機能

BSM370 の各部位の紹介をします。設置する前に外観からの異常はないかご確認ください。

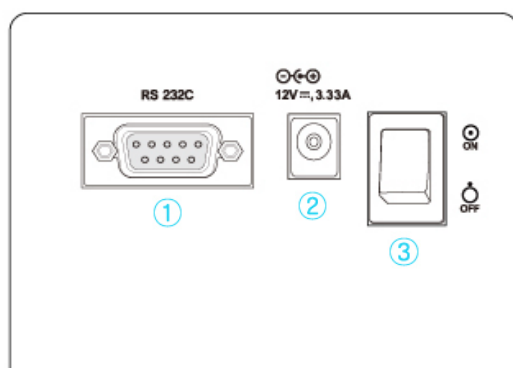


キャスターは、BSM370 本体の背面に基本装着されています。キャスターを利用すると、BSM370 本体の移動が大変便利になります。



1) BSM370 の電源スイッチ

データ伝送のためにオプション装置と接続します。



- ① 9ピンシリアルポート、メス型(RS-232C)
サーマルプリンターを接続するとき使用します。
- ② 電源入力ポート
電源アダプタを接続します。
- ③ 電源スイッチ
電源をオン・オフします。



外部装置連結部は本体背面の下の方に位置しているため、液体や異物が内部に混入する恐れがあります。内部に混入した液体や異物は電気部品に致命的な損傷を与えるのでご注意ください。



電源入力ポートに接続する際は付属の電源ケーブルをご使用ください。



アダプタケーブルのご使用の際は、しっかり差し込んでください。
オプション装置以外の装置はBSM370と接続しないでください。オプション装置に関するお問い合わせは、(株)インボディ・ジャパン、もしくは販売店までご連絡ください。

Ⅲ. 設置方法

1) 設置環境

設置場所

場所: 室内

: 屋外で使用される場合は、必ず以下の条件を守ってください。

動作環境

温度: 10～40°C (50～104°F)

湿度: 30～75%

気圧: 70～106kPa

アダプタ

電源入力: AC 100～240V、50/60Hz、1.2A

電源出力: DC 12V、3.33A



BSM370 を設置する前に、天井の高さが 2156mm 以上であることをお確かめください。BSM370 本体の高さが 2126mm のため、本体と天井の間に最小限 30mm のスペースが必要となります。

2) 設置時の注意事項

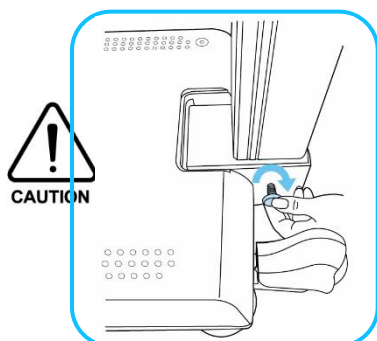
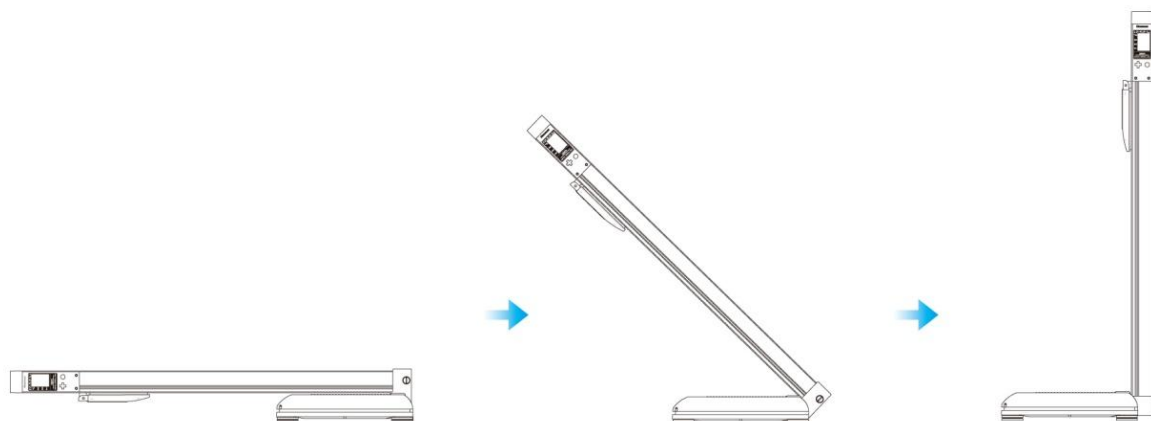
- ① BSM370 は必ず平らな場所に設置して下さい。
- ② 移動時は LCD の操作部やヘッドバーを持って移動しないでください。



本装置を再設置した後、水平レベルを確認してください。水平レベルが保たれていないと体重測定の精度に悪影響が出ますので、必ずご確認ください。

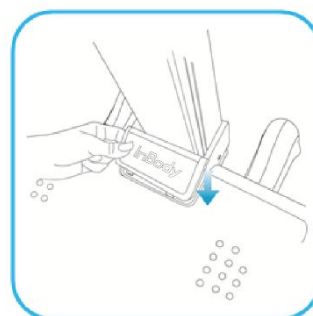
3) 開梱と組み立て

- ① 箱を開けてトップパッドを取り除きます。梱包内容を確認します。
- ② 本装置を平らな場所に置きます。
- ③ 上部が垂直になるまで慎重にスタンドを起こした後、固定ネジを時計回りにまわして固定します。

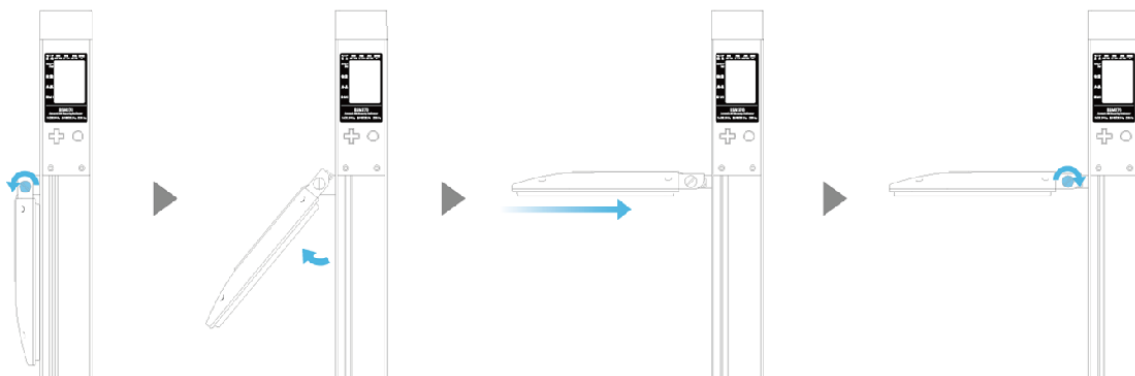


上部を起こすとき、指が挟まれる恐れがありますので、連結部分にはご注意ください。

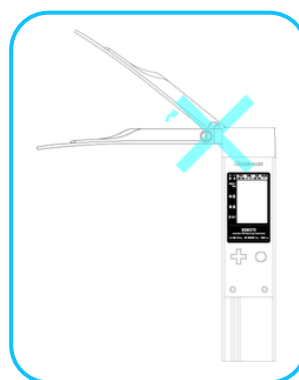
- ④ スタンドを固定したら、体重計の連結部分にカバーをかけます。



- ⑤ ヘッドバーの側面の固定ネジを少し緩めた後、折りたたまれているヘッドバーを 90 度を開きます。完全に開いたら、先ほど緩めた固定ネジをきつく締めてください。

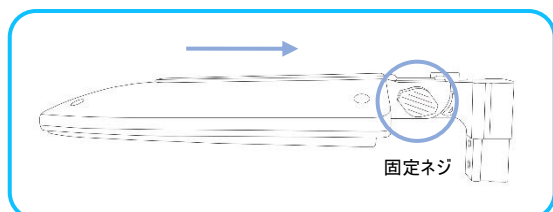


ヘッドバーは、90 度以上開かないでください。
本装置に深刻な損傷を与える恐れがありますので、
ヘッドバーを開く際は必ずご注意ください。

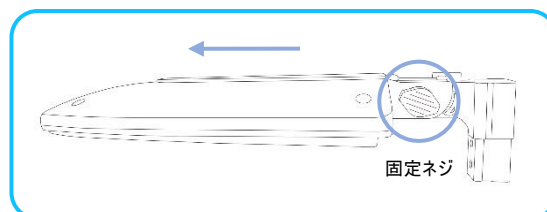


使用する時は、奥側に押し込んで固定ネジで締めて使用しない時は手前側に引いてから
折り曲げて畳んでください。概ね 8 回以上固定ネジを回したら緩んで前後方向に移動できます。

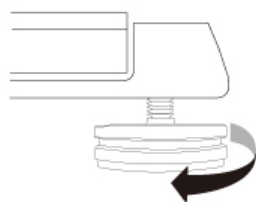
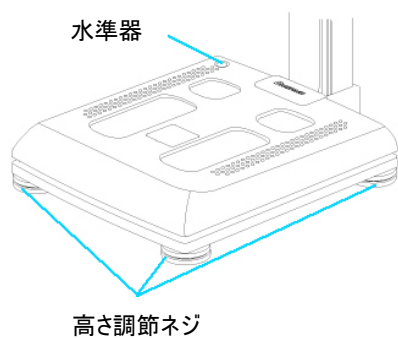
奥側



手前側

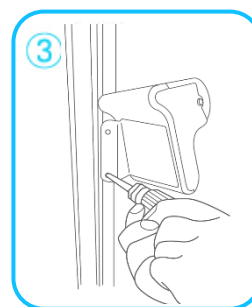
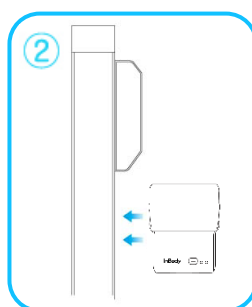
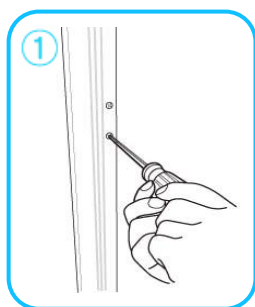


- ⑥ 高さ調節ネジと水準器を使用して、本装置を平らに設置してください。高さ調節ネジは体重計の下に4つあります。水準器は体重計の左上にあります。

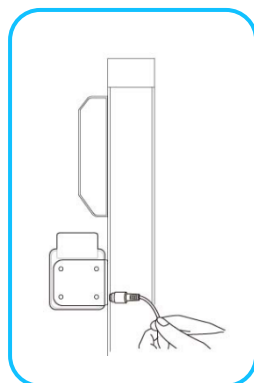


4) オプション装置と接続 (サーマルプリンター)

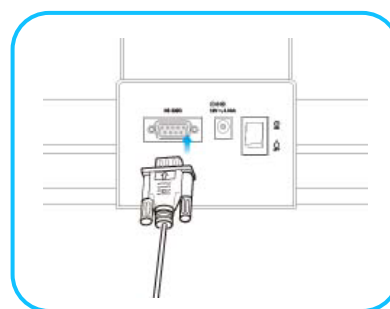
- ① ドライバーを使用してスタンド中央のネジを外します。
- ② サーマルプリンターのブラケット部分を先程外したネジの穴に合わせた後、再度ネジで固定します。



- ③ サーマルプリンターと体重計背面の外部装置連結部をシリアルケーブル(95cm)で繋げます。

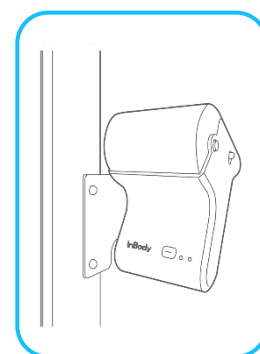
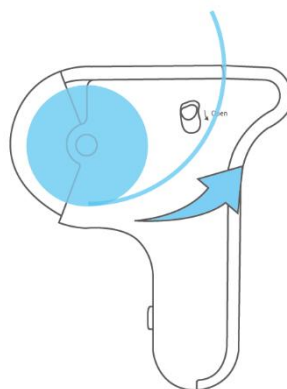
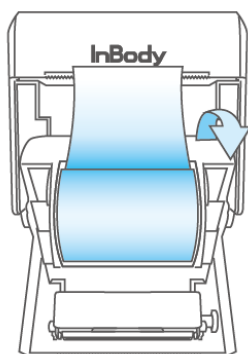


<身長計の背面>



<体重計の背面>

- ④ 下記のイメージと同じ方向にサーマルプリンター用紙を入れます。
その際、サーマルプリンターよりプリンター用紙が 1cm ほどはみ出るように設置します。



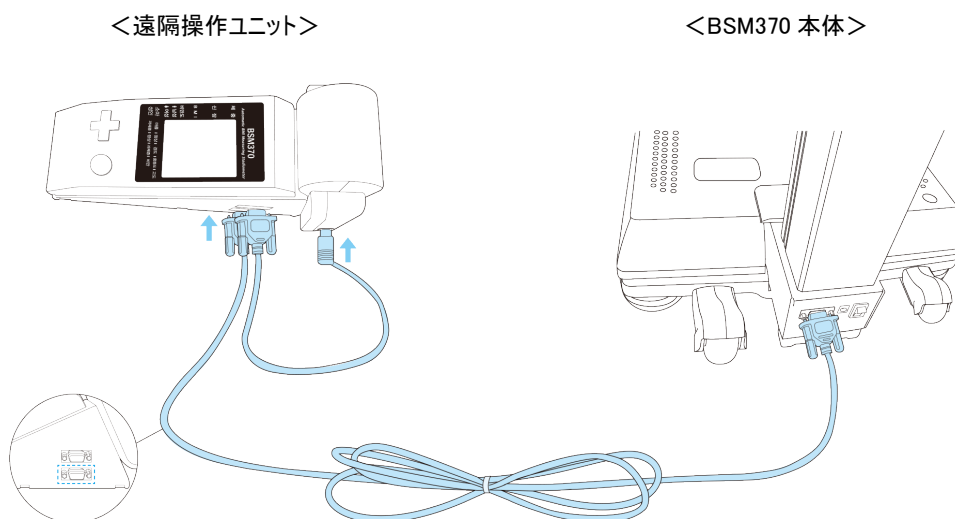


(株)インボディ・ジャパンが提供したプリンター用紙のみご使用ください。

5) オプション装置と接続 (遠隔操作ユニット)

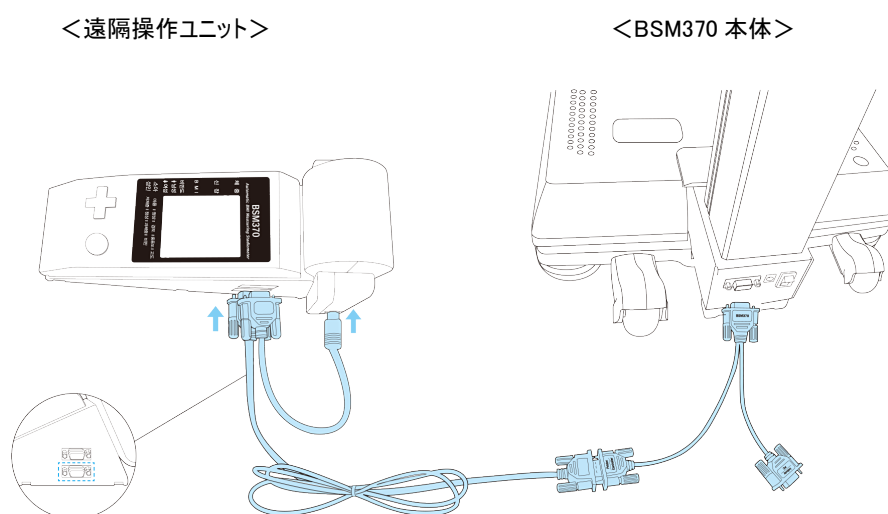
オプション装置の遠隔操作ユニットは下記のように接続します。

※ 遠隔操作ユニット+ BSM370



※ 遠隔操作ユニット+ BSM370 + InBody

BSM370 を遠隔操作ユニットと InBody と連動する場合は、Y 字型ケーブルを使用してください。



IV. 移動

BSM370 を移動する場合は、安全にお取り扱いいただくようご配慮ください。
以下は BSM370 を安全に移動して頂くための助言です。

- A. BSM370 を移動する前にヘッドバーを下してください。
(SETUP ボタン▼を長押しすると自動でヘッドバーが下がります。)
- B. 本装置の電源を切ってケーブル類は取り外してください。
- C. ヘッドバーや操作部を壊さないように十分ご注意ください。
- D. 移動の際は、パッドなどで本装置が揺れないようにしてください。
- E. 移動後は、BSM370 が水平になるように調整してください。

1) 保管環境

湿度: $-20\sim 70^{\circ}\text{C}$
 : $-4\sim 158^{\circ}\text{F}$
湿度: 10~95%
気圧: 50~106kPa

2) 設置前の移動

BSM370 は(株)インボディ・ジャパンの専用梱包箱に入れて出荷されます。設置前の移動の際は、安全に取り扱うため、台車などの移動用装備を利用していただくか、安全な姿勢で移動してください。



梱包箱の内部には操作部などの壊れやすい部分があります。お取り扱いにはご注意ください。

3) 設置後の移動

最初の設置場所から本装置を移動させなければならない場合は、専用の梱包材料と梱包箱をご使用いただき、移動中の損傷を避けるようお願いいたします。



本装置のキャスターは、凹凸のない平地での移動のみに使用してください。

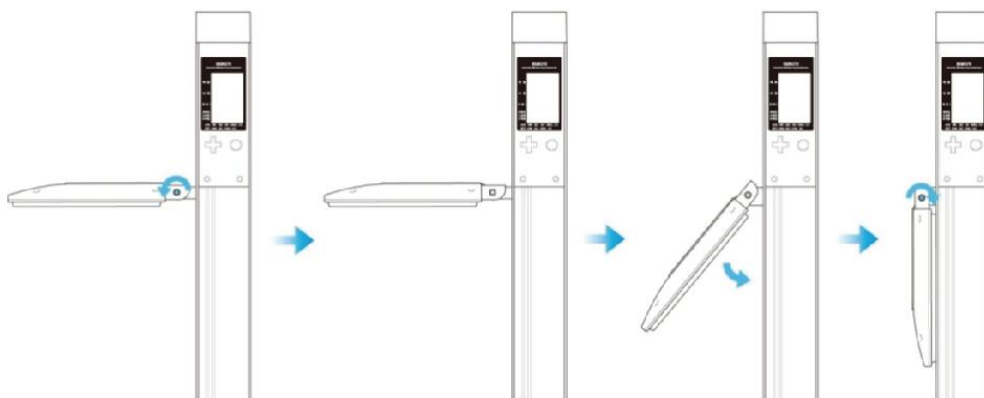


本装置の再設置後は、水平レベルをご確認ください。水平レベルが保たれていないと体重測定の精度に悪影響が出ますので、必ずご確認ください。

V. 再梱包

BSM370 を再梱包する際は、必ず▼ボタンを長押ししてヘッドバーを下した後、電源を切ってケーブル類は本装置から取り外してください。また、ヘッドバーや操作部に衝撃を加えたり、傷をつけないようにご注意ください。

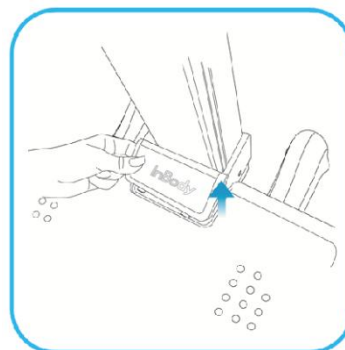
- ① ▼ボタンを長押ししてヘッドバーを下してください。その後 BSM370 の電源スイッチを切ってください。
- ② すべてのケーブルを BSM370 から取り外してください。
(オプション装置の遠隔操作ユニットやサーマルプリンターが接続されている場合は、まずオプション装置から取り外してください。)
- ③ ヘッドバー側面の固定ネジを少し緩めてヘッドバーを動かします。ヘッドバーを 90 度に折りたたんだら、先ほど緩めたネジを時計回りにまわして固定します。



WARNING

ヘッドバーに無理な力を加えると損傷する恐れがあります。再梱包のように特別な場合でなければ、ヘッドバーには触れないでください。

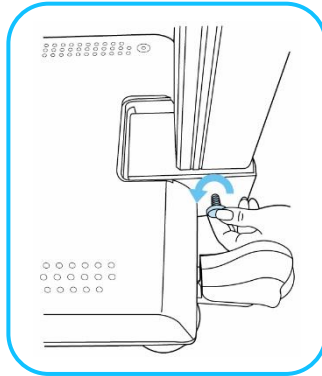
- ④ 必ず体重計の連結部分のカバーを外します。



WARNING

連結部分のカバーをつけた状態でスタンドを前方に折り畳むと、本装置に深刻な損傷を与える恐れがあります。必ず連結部分のカバーを取り外したあと、次のステップに進んでください。

- ⑤ 連結部分のカバーを外したら、側面の固定ネジを時計反対回りにまわしながら本装置から取り外します。



- ⑥ BSM370 の上部を慎重に体重計の方に倒します。



スタンドを折り畳む際は、連結部分に指を挟まないようご注意ください。

- ⑦ 本装置を梱包箱に入れ、テープで閉じます。

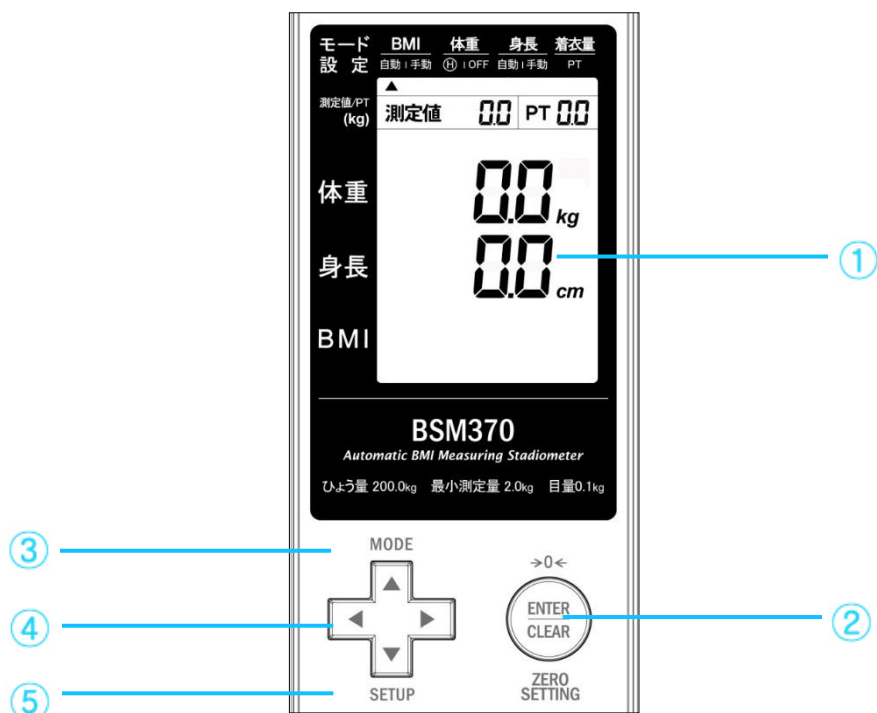
VI. 維持・保守

- ① BSM370 を分解しないでください。本装置を勝手に分解すると測定上の誤差及び故障の原因となり、内部に致命的な損傷を与える恐れがあります。勝手に分解された本装置については製品の保証ができず、それによる損失や損害に関しての責任を負いかねますのでご了承ください。
- ② BSM370 の取り扱いにはご注意ください。ヘッドバーや連結部分には決して過度な力をかけないでください。誤った使用方法でもたらされた損傷は、内部ケーブル類や基盤の機能に影響を与える恐れがあります。
- ③ 高温や低温、多湿な所でのご使用はお止めください。極端な温度や環境は電子装置の性能や部品に致命的な影響を与える恐れがあるので、必ず製品仕様書で提示した環境内でご使用ください。
- ④ 体重計に無理な衝撃や力を与えず、体重計の上には物を置かないでください。
- ⑤ BSM370 を 1 日以上ご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを切ってください。
- ⑥ BSM370 を長期間保管する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⑦ 食べ物や飲み物などを本装置にこぼさないようにご注意ください。内部の部品に致命的な損傷を与える恐れがあります。
- ⑧ 電源を入れた状態で本装置を移動しないでください。
- ⑨ 本装置は乾いた柔らかい布で軽く清掃してください。洗剤などは製品に損傷を与える恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑩ 梱包部材等を処分する際は、自治体等の環境保護基準やごみ処理の規則に従って廃棄してください。

2 章 使用方法

- I. 操作部の外観・機能
- II. 電源投入とウォーミングアップ
- III. 測定姿勢
- IV. 測定方法
- V. 結果確認

I. 操作部の外観・機能



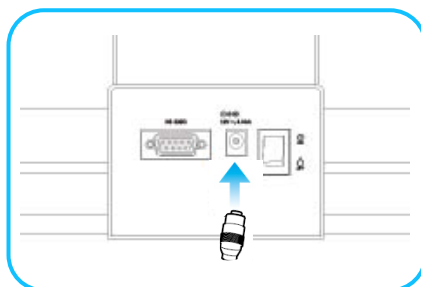
<BMI 自動の初期画面>

- ① LCD ディスプレイ: 測定結果を画面で表示します。
- ② ENTER ボタン
 - a ENTER 機能: 項目を選択したり、測定を開始するとき使用します。
 - b CLEAR 機能: 測定後、画面に表示された測定値をすぐに消します。
ボタンを1秒間押すと、測定モードの初期画面に戻ります。
 - c 零点調節機能: 零点調節をする際に、使用します。ボタンを1秒間押すと、ピピッと鳴って零点調節を開始し、ピピピッと鳴って終了をお知らせします。
- ③ MODE ボタン(▲): 測定モードを選択するとき使用します。
- ④ 方向ボタン(▲、▼、◀、▶): 測定モードの選択やヘッドバーの調節に使用します。
 - a ヘッドバー調節(DOWN): 初期画面で(▼)ボタンを3秒間押すと、ピーピーと鳴ってヘッドバーが下りてきます。画面には OFF と表示されます。
 - b ヘッドバー調節(UP): 初期画面で(▲)ボタンを3秒間押すと、ピーピーピーと鳴ってヘッドバーが上がります。画面には ON と表示されます。
- ⑤ SETUP ボタン(▼): 環境設定を変更するとき使用します。

II. 電源投入とウォーミングアップ

A. BSM370 本体のみの場合

- ① 電源アダプタを体重計背面の電源入力ポートに接続してください。



WARNING

電源アダプタは、必ず(株)インボディ・ジャパンが提供したアダプタをご使用ください。

- ② 体重計背面の電源スイッチを入れてください。スイッチを入れると、ヘッドバーが自動で上がります。



NOTE

ヘッドバーを下げる時は、▼ボタンを長押ししてください。



NOTE

BSM370 の電源を入れるとき、体重計の上に物が置かれていたり、人が乗っていたりするとエラーメッセージが表示されます。「Cod1」のエラーメッセージが表示された場合は、体重計の上の物を取り除いた後、本装置を再起動してください。



NOTE

BSM370 に電源を入れたあと、体重計に無理な力を加えたり重い物を置いたりすると、体重の零点調節に誤差がでる恐れがあります。体重計に無理な力や衝撃を与えないでください。

B. サーマルプリンターと連動する場合

- ① 電源アダプタとプリンターケーブルを体重計背面のポートに接続してください。
- ② サーマルプリンター本体の電源を入れてください。
- ③ プリンターの電源を入れたら、BSM370 本体の電源を入れてください。

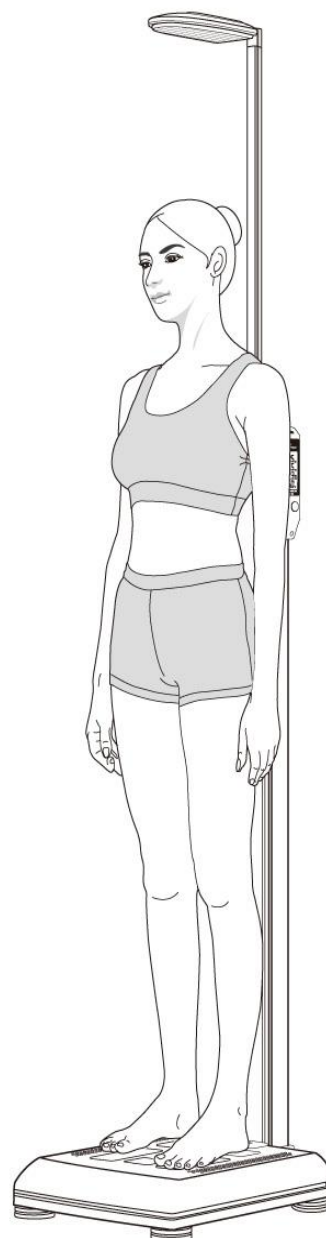
Ⅲ. 測定姿勢

適切な測定姿勢は、腕と脚を伸ばして普通に立った状態を示します。重い衣服やアクセサリ類はなるべく外し、より良い測定結果を得るために出来るだけ軽装で測定してください。

- ① スタンドを背にして両足を体重計のくぼみに合わせながら体重計の上に立ちます。
- ② 測定中はスタンドに背中を付けず、膝をまっすぐ伸ばして視線は正面を向ってください。
- ③ 測定が終了するまで身体に力を入れず、その姿勢を維持してください。



測定中、スタンドに寄り掛かると正確な測定値を求める
ことができません。
スタンドに寄り掛からないようご注意ください。



IV. 測定方法

1) モード設定

- ① 初期画面で「MODE」ボタン(▲)を押して、測定モードを選択します。
- ② 方向ボタン(◀、▶)でご希望のモードを選択し、「ENTER」ボタンを押します。
- ③ 選択したモード設定が保存され、初期画面が表示されます。

- BMI: 体重・身長・BMI を測定します。
自動: 体重測定後、自動的に身長測定を行います。
手動: 体重測定後、「ENTER」ボタンを押すと、身長測定を開始します。

- 体重: 体重を測定します。
Hold On : 体重測定後、体重計から降りても体重測定値を約 5 秒間表示します。
Hold Off : 体重測定後に動くと体重を再測定します。(±0.05kg の変化を感知した場合)
また、体重計から降りるとすぐに体重測定の初期画面に戻ります。

- 身長: 身長のみ測定します。
自動: 自動的に身長測定を行います。
手動: 「ENTER」ボタンを押すと、身長測定を開始します。

- 着衣量設定: 体重測定値から引く、衣服など一定の着衣量を予め設定します。着衣量は 0.0kg から 5.0kg まで 0.1kg の単位で設定できます。ここで設定した値は体重測定値から引かれ、画面に表示されます。



NOTE

出荷時の BSM370 の測定モードは、「BMI:自動」に設定されています。

A. BMI 測定モード

このモードは体重／身長計として体重と身長及び BMI を測定する際に使用するモードです。

① BMI（自動）

体重計に上がると体重測定を開始し、測定値を画面に表示します。
(測定モードで予め設定した着衣量が反映された体重値を表示します。)
体重測定後、自動的に身長測定が始まります。
身長測定値と BMI が画面に表示されます。

② BMI（手動）

体重計に上がると体重測定を開始し、測定値を画面に表示します。
(測定モードで予め設定した着衣量が反映された体重値を表示します。)
体重測定が終了したら、画面に「Press ENTER」と表示されます。
「ENTER」ボタンを押すと、身長測定をはじめます。
身長測定値と BMI が画面に表示されます。

B. 体重測定モード

体重計として体重を測定する場合に使用するモードです。

① 体重（Hold On）

体重計に上がると自動的に体重測定を開始し、測定値を画面に表示します。
(測定モードで予め設定した着衣量が反映された体重値を表示します。)
体重計から降りても約 5 秒間体重測定値を表示します。

② 体重（Hold Off）

体重計に上がると自動的に体重測定を開始し、測定値を画面に表示します。
(測定モードで予め設定した着衣量が反映された体重値を表示します。)
体重測定後、体重計の上で動くとき体重を再測定します。(±0.05kg の変化を感知した場合)
体重計から降りたらすぐに体重測定の初期画面に戻ります。

C. 身長測定モード

このモードは身長計として身長を測定する場合に使用するモードです。

① 身長（自動）

体重計に上がると自動的に身長測定を開始し、身長測定値を画面に表示します。

② 身長（手動）

体重計に上がると、画面に「Press ENTER」と表示されます。

「ENTER」ボタンを押すと、身長測定を開始し、測定値を画面に表示します。

V. 結果確認

1) 結果画面

測定が完了すると、測定値を画面で表示します。
被測定者が体重計に乗っている間、結果画面を確認することができます。すぐに測定値を画面から消したい場合は、ENTER ボタンを押してください。



<結果画面>

BSM370		2009年 09月 12日 09:15:37	
・身長		156.5	cm
・体重		54.5	kg
・着衣量(PT)		0.0	kg
・BMI		22.3	kg/m ²

<結果用紙>

2) 結果用紙

サーマルプリンターから出力される結果用紙です。こちらの用紙は㈱インボディ・ジャパンが推奨する感熱紙をご使用ください。ご注文の際は㈱インボディ・ジャパン、もしくは販売店までご連絡ください。

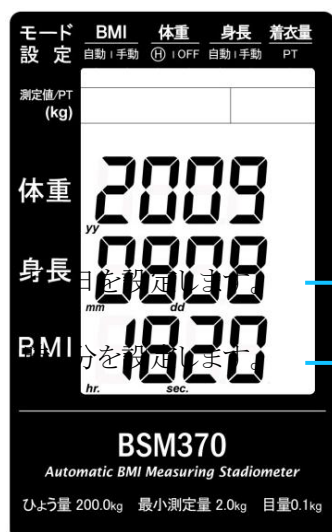
- ・ 測定日時
- ・ 身長測定値 : 身長の実測値です。
- ・ 体重測定値 : 体重の実測値です。
- ・ 着衣量(PT) : 体重測定値から引かれるように予め設定した衣服などの着衣量です。
- ・ BMI : 身長からみた体重の割合を示す体格指数で、肥満度を表します。

3 章 SETUP 設定と変更

I. SETUP 設定

I . SETUP 設定

SETUP では「年 / 月、日 / 時、分」の設定をします。



① :年度を設定します。

②

③

1) 日付設定

- ① SETUP (▼) ボタンを押すと、上記のような画面が表示されます。
- ② 左右の方向ボタン (◀、▶) で、ご希望の項目に移動します。
- ③ 上下の方向ボタン (▲、▼) で、設定内容を変更します。
- ④ 変更終了後、ENTER ボタンを押すと初期画面に戻ります。

2) ダイレクトケーブルモード設定

ダイレクトケーブルモードは、Y 字型ケーブルを使用せずに InBody と連動するモードです。この場合、サーマルプリンターや遠隔操作ユニットの使用はできません。

- ① SETUP (▼) ボタンを押すと、上記のような画面が表示されます。
- ② 日付設定から右の方向ボタン (▶) を 5 回押すと、ケーブル設定画面が表示されます。
- ③ 上下の方向ボタン (▲、▼) で、設定内容を変更します。yCA は Y 字型ケーブル、dCA はダイレクトケーブルです。
- ④ 変更終了後、ENTER ボタンを押すと初期画面に戻ります。

4 章 問題と解決

- I. エラーメッセージ
- II. トラブルシューティング

I. エラーメッセージ

BSM370 は、トラブルを警告するためにエラーメッセージを表示し、その対処法をお知らせします。

下記は、一般的によく出るエラーメッセージとその対処法です。



<エラーメッセージの画面例>

エラーメッセージ		対処法
Cod 1	電源を入れたあと、体重計の上に物が置かれていたりすると表示されます。	体重計の上の物を取り除いた後、本装置を再起動してください。
Cod 2	測定可能な体重範囲を超えた場合に表示されます。	体重測定範囲を確認してください。 (体重測定範囲:0.0~200kg)
Cod 3	半自動零点設定範囲を超えた場合に表示されます。範囲を超えると、半自動零点は設定できません。	体重計の上の物を取り除いた後、本装置を再起動してください。
Err 1	身長計のウォーミングアップの際に、フォトセンサーが正常に動作しない場合に表示されます。	身長測定は可能ですが、測定値が正確でない恐れがあります。 このエラーは、ユーザーが対処できない異常を感知した場合に表示されます。 (株)インボディ・ジャパン又は販売代理店までご連絡ください。
Err 2	身長計のウォーミングアップの際に、データメモリーの動作が正常でない場合に表示されます。	
Err 3		
Err 4		
Err 5	身長測定の際に、Top フォトセンサーが正常に動作しない場合に表示されます。	
Err 6	身長測定の際に、Bottom フォトセンサーが正常に動作しない場合に表示されます。	
Err 7	身長キャリブレーションの際に、フォトセンサーが正常に動作しない場合に表示されます。	

II. トラブルシューティング

スイッチを入れたのに電源が入らなかったり、画面に何も表示されなかった場合、まず電源ケーブルがただしく接続されているかご確認ください。多くのトラブルは、トラブルシューティングの手順に従って頂ければ簡単に解決できます。下記の手順を参考にして、問題解決を行ってください。

1) スイッチを入れても電源が入らないとき

原因 1 電源ケーブルがしっかり繋がれていない。

対処 1 電源ケーブルの両端がしっかり接続されているか確認し、繋がれてない場合はしっかり接続してください。

原因 2 テーブルタップ等のスイッチが切れているかあるいは機能しない。

対処 2 電気が入っているかどうかお調べください。

原因 3 アダプタがしっかり繋がっていない。

対処 3 アダプタの両端が接続されているか確認し、繋がっていないかつらしっかり接続してください。ご使用には付属品のアダプタをお使いください。

2) 体重測定値が通常と大幅に異なる数値を表示したとき

原因 1 このような現象はウォーミングアップが正常に行われなかった場合

対処 1 BSM370 の電源を切り、10 秒ほど経ってから再度電源を入れてください。体重計の上には何も無い状態で再度ウォーミングアップを行ってください。ウォーミングアップ中にロードセルは 0kg にセットされます。体重計にわずかでも重さが加わるとキャリブレーションに負の影響を及ぼします。このような場合、BSM370 は重さが加わった状態を校正值 0 としてセットしますので、実際の測定時に負の影響が現れます。

対処 2 零点調節ボタンを押して再設定してください。

3) サーマルプリンター結果用紙が印刷されないとき

原因 1 サーマルプリンターの結果用紙でない場合

対処 1 (株)インボディ・ジャパン社が提供する用紙のみご使用ください。詳細は第 5 章 2 節の「消耗品」をご参照ください。

原因 2 サーマルプリンター結果用紙の印刷方向が間違っている場合

対処 2 サーマルプリンター結果用紙は感熱紙です。第 1 章 3 節「設置方法」を参照して感熱紙を正しい方向に入れてください。

原因 3 サーマルプリンターの接続が適切でない場合

対処 3 プリンターケーブルの接続状況をご確認ください。ケーブルによる異常の場合は、修理もしくは部品の交換が必要となります。

付 録

- I. 地域別重力加速度の範囲
- II. 消耗品及びオプション装置
- III. RS-232C 準拠出力説明
- IV. 製品仕様
- V. 連絡先

I. 地域別重力加速度の範囲

この表はご使用の地域と重力加速度の範囲の目安となります。本装置の背面ラベルに記載されている重力加速度の範囲以外の場所へ本装置を移動して使用することはできません。

都道府県別に見た、重力加速度の範囲

都道府県		重力加速度の範囲(m/s ²)	目量の数	
			3級	4級
北海道地方	北海道	9.803~9.807	≦4900	≦1000
	道北地方(宗谷・上川・留萌) 道東地方(網走・根室・釧路)十勝地方を除く	9.804~9.807	≦6000	
	道央(石狩・後志・空知) 道南(檜山・胆振・日高・渡島) 十勝地方	9.803~9.806		
東北地方	青森県	9.802~9.804	≦6000	
	岩手県	9.801~9.804		
	宮城県	9.800~9.802		
	秋田県	9.800~9.803		
	山形県	9.799~9.802		
	福島県	9.798~9.801		
関東甲信越地方	茨城県、新潟県	9.798~9.801	≦6000	
	栃木県	9.797~9.800		
	千葉県	9.797~9.799		
	神奈川県、山梨県	9.796~9.798		
	群馬県、埼玉県	9.796~9.799	≦4900	
	長野県	9.795~9.798		
	東京都	9.794~9.798		
	東京都(八丈支庁・小笠原支庁を除く)	9.796~9.798		
東京都(八丈支庁・小笠原支庁に限る)	9.794~9.796	≦6000		
北陸地方	福井県	9.797~9.799	≦6000	
	富山県、石川県	9.797~9.800		
東海・近畿地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県	9.796~9.798	≦6000	
	京都府、兵庫県	9.796~9.799		
中国・四国地方	山口県、広島県	9.796~9.797	≦6000	
	岡山県、鳥取県	9.796~9.798		
	島根県	9.796~9.799		
	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795~9.797		
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県	9.795~9.797	≦6000	
	熊本県	9.794~9.796		
	宮崎県	9.794~9.795		
	大分県	9.794~9.797	≦3922	
	鹿児島県	9.791~9.796		
	鹿児島県(薩摩地方に限る)	9.794~9.796	≦6000	
	鹿児島県(薩摩地方を除く)	9.791~9.794		
沖縄県	9.789~9.792			



NOTE

- ・本装置を移動される際は事前に移動先の重力加速度をお調べになった上で行ってください。
- ・移動できる範囲は背面の計量検定ラベルに記載されている重力加速度の範囲内に限ります。

II. RS-232C 準拠出力説明

下記は、本装置の測定結果を RS-232C に準拠した信号として、パソコンなどの外部装置に送信するデータに関する説明です。

1) 仕様

通信規格： EIA RS-232C 準拠

通信方式： 非同期直列通信

通信速度： 19200、8 Data Bits、1 Stop Bit、Non Parity Bit

2) 出力データ項目

項目名	出力データ(ASCII コード)			測定モード		
	形式	長さ	詳細	WH	W	H
測定日時 年/月/日	“yy/mm/dd”	10Bytes 固定長	yy:年 mm:月 dd:日	○	○	○
測定時間 時/分/秒	“hh/mm/ss”	10Bytes 固定長	hh:時 mm:分 ss:秒	○	○	○
体重	“xxx.x”	7Bytes 固定長	単位 kg	○	○	×
身長	“xxx.x”	7Bytes 固定長	単位 cm	○	×	○
BMI	“xxx.x”	7Bytes 固定長	単位 kg/m ²	○	×	×
着衣量(PT)	“x.x”	5Bytes 固定長	単位 kg	○	○	×

測定モードは次の通りです。



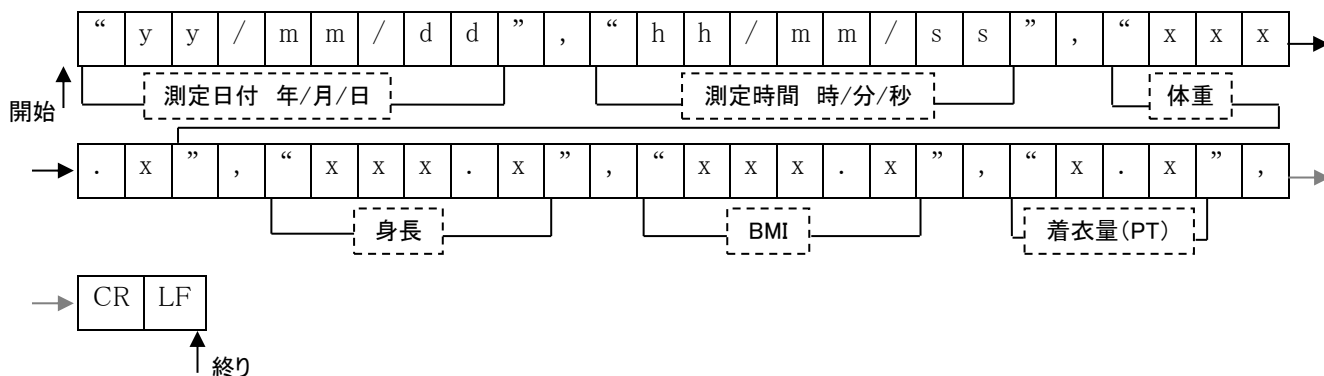
WH: 体重/身長測定モード

W: 体重測定モード

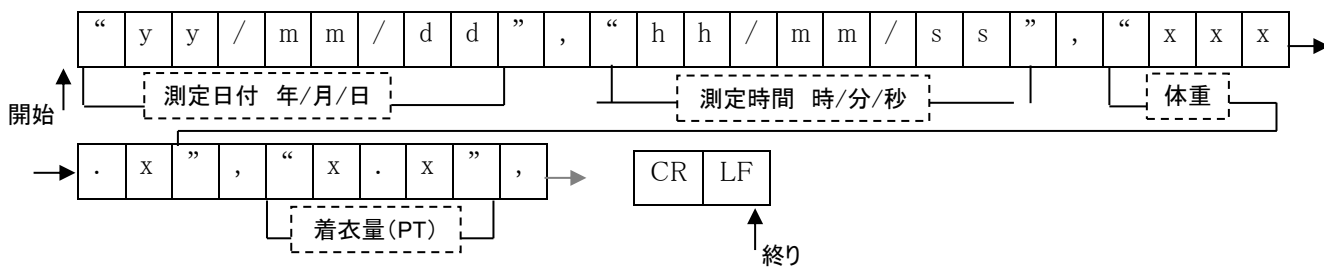
H: 身長測定モード

3) RS-232C 出力データフォーマット例

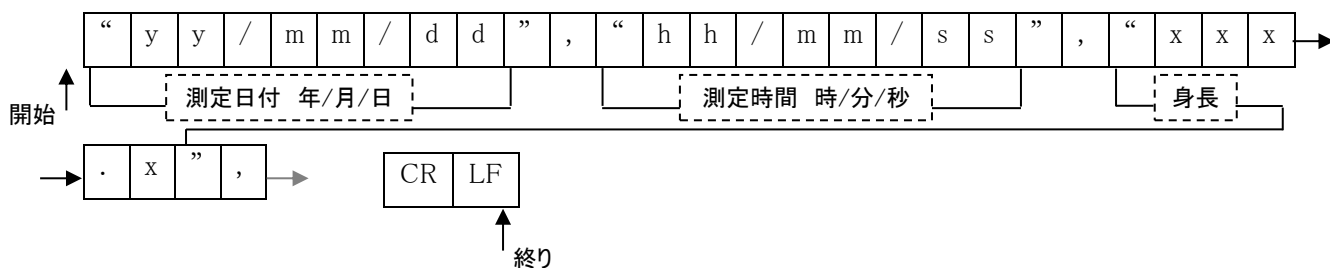
① WH (体重/身長測定モード)



② W (体重測定モード)



③ H (身長測定モード)



各データはカンマ(,)で区切られています。また、データの最後は、CR-Carriage Return (ASCII コード: 0×0D)、LF-Line Feed (ASCII コード:0×0A) です。



固定長データでデータの桁数が規定の長さには達しない場合は、データは右詰めで出力され、あまった桁には数字の0が入ります。

Ⅲ. 消耗品及びオプション装置

下記は各消耗品及びオプション装置の形態と仕様です。
何らかの不備がありましたら、ご使用を控え、(株)インボディ・ジャパン、もしくは販売店にご連絡ください。

■消耗品

1) サーマルプリンター用ロールペーパー

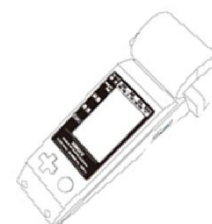
用紙サイズ	58(紙幅)×40(直径):mm
	1巻 329回印刷可能(身長の場合 494回)
ロール数	4巻/1箱
販売元	(株)インボディ・ジャパン



■オプション装置

2) 遠隔操作ユニット

サイズ	95(W)×250(L)×150(H):mm
ケーブルの長さ	2m
数量	本体1台/ケーブル1本
製造元	(株)インボディ・ジャパン

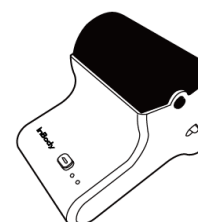


NOTE

遠隔操作ユニットには、サーマルプリンターが基本装着されています。

3) サーマルプリンター

サイズ	95(W)×55(L)×135(H):mm
ケーブルの長さ	1m
数量	本体1台/ケーブル1本
製造元	(株)インボディ・ジャパン



IV. 製品仕様

◆ 核心仕様	
測定項目	体重、身長、BMI
身長測定範囲	900～2000mm
体重測定範囲	10～200kg

◆ 機能仕様	
結果表示	デジタル方式で測定結果を LCD 画面に表示
零点調節	ウォーミングアップ中に体重零点調節を実施 半自動零点調節可能
測定モード	1. 体重測定: Hold On/ Hold Off
	2. 身長測定: 自動/ 手動
	3. 体重、身長、BMI 測定: 自動/ 手動
	4. 着衣量(PT)設定
着衣量設定	0.0～5.0kg まで 0.1kg 単位で設定可能
測定単位	kg/ cm

◆ その他		
アダプタ	電源入力	電源入力: AC100-240V、50/60Hz、1.2A
	電源出力	電源出力: DC12V、3.33A
外部インターフェース	RS-232C 1EA	
プリンター	サーマル(感熱式)外付けプリンター	
外形寸法	380(W) × 550(L) × 2126(H) :mm ※ヘッドバーが下がっている場合: 1350mm ※体重測定部の高さ: 95mm	
製品重量	14kg	
測定時間	体重測定: 2 秒/ 身長測定: 3 秒/ 体重・身長・BMI 測定: 7 秒未満	
動作環境	10～40℃、30～75%RH、70～106kPa	
保管環境	-20～70℃、10～95%RH、50～106kPa	

※性能改良のため仕様・デザインは予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

V. 連絡先

(株)インボディ・ジャパンは韓国に本社を、世界各国にネットワークを持ち販売活動を行っております。

株式会社インボディ・ジャパン

(東京本社)

〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-28-6 タニビル

Tel:03-5875-5780 Fax:03-5875-5781

InBody KOREA [KOREA]

InBody Bldg., 54, Nonhyeon-ro 2-gil, Gangnam-gu, Seoul 135-960

Tel: +82-2-501-3939 Fax: +82-2-578-5669

Website: <https://www.inbody.com> E-mail: inbody@inbody.com

